

子ども司書NEWS NO.4

平成30年12月12日発行 廿日市市教育委員会・はつかいち市民図書館

平成30年度「子ども司書」養成講座の「秋の活動」が終わりました。
春から秋にかけて研修を受け、学校や地域の図書館で「秋の活動」を行い、すべての条件をクリアした子どもたちは、2月に「子ども司書」の認定証がもらえます。



あき かつどう ようす
秋の活動の様子
ポップの飾りつけ



本の装備・修繕

子ども司書養成講座年間スケジュール

6月	7月	8月	9月	10月	11月	2月
全体研修①	実地研修	(地域の図書館)	全体研修②	秋の活動 (地域の図書館)	および学校 (および学校)	認証式

学校と地域の図書館で秋の活動を行いました

本の貸出・返却・配架

夏休みの実地研修と同じように、地域の図書館で本の貸出・返却・配架(返ってきた本を棚に戻す仕事)をしました。



本のバーコードを読み取って貸出を行っています。



返ってきた本を請求記号順に本棚へ戻しています。

本の装備・修繕

本が長く読めるように透明なブックカバーをつけたり、壊れた本をまた読めるように直したりしました。



お気に入りの本にブックカバーをつけています。

POPの飾りつけ

子ども司書の活動の中で作ったPOP（おすすめの本を紹介するカード）をボードに貼りつけました。レイアウトを考えるグループと、見出しを作るグループに分かれて、手分けして作業を行いました。



協力して見出しを作っています。

ボードの飾りを考えています。

おりがみで作った飾りをボードに貼りつけています。

「子ども司書」の「も」の字を作って切っています。

子ども司書たちのPOPとおすすめの本は、

平成31年1月5日（土）から23日（水）まで
はつかいち市民図書館の中央通路で展示します！



子ども司書の感想

本の読み聞かせはきんちょうしたけれど、1年生が熱心に聞いてくれたので大成功だったと思います。

読み聞かせには20人ぐらいの人が集まって、読み終わるまでみんな聞いてくれたのがとてもうれしかったです。また、ちがう本を読んで、本の面白さを広めていきたいです。

図書館に一日いると、人が借りたり返したりした本が「おもしろそうだな。あの本も読んでみたいな。」と覚えて楽しかったです。司書の方は、いつも笑顔で仕事をしていたので、すごいなと思いました。

ふだんあまり読まない野球の本やことわざの本なども読むことができ、面白かったです。

司書の仕事はとても大変だと思いました。でも、子ども司書の研修は本当に楽しくて、もう少し研修を受けたいと思いました。

子ども司書の活動を行って、さらに本とのつながりが深まったと思いました。もっと読書好きが増えるとうれしいと思いました。

司書の仕事は、みんなに本に興味をもってもらえるよう、様々な工夫や知恵が必要であることを学びました。機会があれば、アンケートを取り、その結果を生かしたイベントをしてみたいです。